

平成27年3月版

[全体マップ]

川内地区 地震・津波避難支援マップ① (加賀須野・大松・中島・平石夷野)

平成27年3月

地盤沈下・液状化が起こりやすい所

旧河道とは過去の河川流路の跡で軟弱な地盤です。この地区には3本の大きな旧河道があります。1つめは **①** - **②** - **③** を今切川に沿って円弧状に結ぶ筋です。このすぐ南にも **①** - **④** - **⑤** - **⑥** - **⑦** を結ぶ旧河道があり、現在の水路からその痕跡を読み取ることができます。さらに **①** - **⑧** - **⑨** に水路がありますが、これも旧河道の名残です。旧河道とその周辺では地盤沈下や液状化現象が発生しやすいので、避難時に注意して下さい。

参考：国土交通省、吉野川流域水害地形分類図(1)、平成7年3月



鍵保管庫のある津波避難ビル(1)

大塚倉庫今切4号倉庫 (北東側屋外階段前)

避難時の注意

避難路の破線部分は工場私有地です。緊急時のみの対応で通路は変更される場合があります。避難時は十分注意して通行して下さい。

状況によっては通行できない場合がありますので、ご理解下さい。

鍵保管庫のある津波避難ビル(2)

徳島県生コンセンター (北側屋外階段前)

川内北小学校 (中学校舎正面玄関)

記号の説明

徳島市津波避難ビル (収容人数)	鍵保管庫	主な避難施設から半径500m圏 (災害時徒歩移動20分圏)
徳島市緊急避難場所 (収容人数)	避難施設入口	
協議会津波避難ビル (収容人数)	幹線避難路と避難方向	地盤の高さ (海拔(m)) 0.7
協議会緊急避難場所 (収容人数)	階段・歩道橋	

製作：川内まちづくり協議会 / 川内南コミュニティ協議会 / 川内町自主防災組織連絡協議会 / 徳島大学環境防災研究センター / 徳島市
お問合せ先：川内まちづくり協議会 088-665-1712
「この地図は、徳島市長の承認を得て、1/2500地形図を複製したものである。(承認番号 徳島市指令都政第225号)」

川内地区 地震・津波避難支援マップ② (沖島・竹須賀・平石・米津・富吉)

平成27年3月

鍵保管庫のある津波避難ビル(1)



**地盤沈下・液状化が
起こりやすい所**

この地域は旧河道が縦横に走っています。大きな筋は **① - ② - ③ - ④** と **⑤ - ⑥** の2本です。地図を見ると旧河道に沿う形で水路が見えます。旧河道およびその周辺では地盤沈下や液状化現象が発生しやすいので、避難時に注意して下さい。

参考：国土交通省、吉野川流域水害地形分類図(1)、平成7年3月

製作：川内まちづくり協議会
川内南コミュニティ協議会
川内町自主防災組織連絡協議会
徳島大学環境防災研究センター
徳島市

お問合せ先：
川内まちづくり協議会 088-665-1712



川内地区 地震・津波避難支援マップ③ (榎瀬・久木・沖島・北原・上別宮・金岡) 平成27年3月

鍵保管庫のある津波避難ビル(1)



徳島県生コンセンター（北側屋外階段前）

川内北小学校（中学校舎正面玄関）



スペースドゥ川内（北側屋外階段付近）

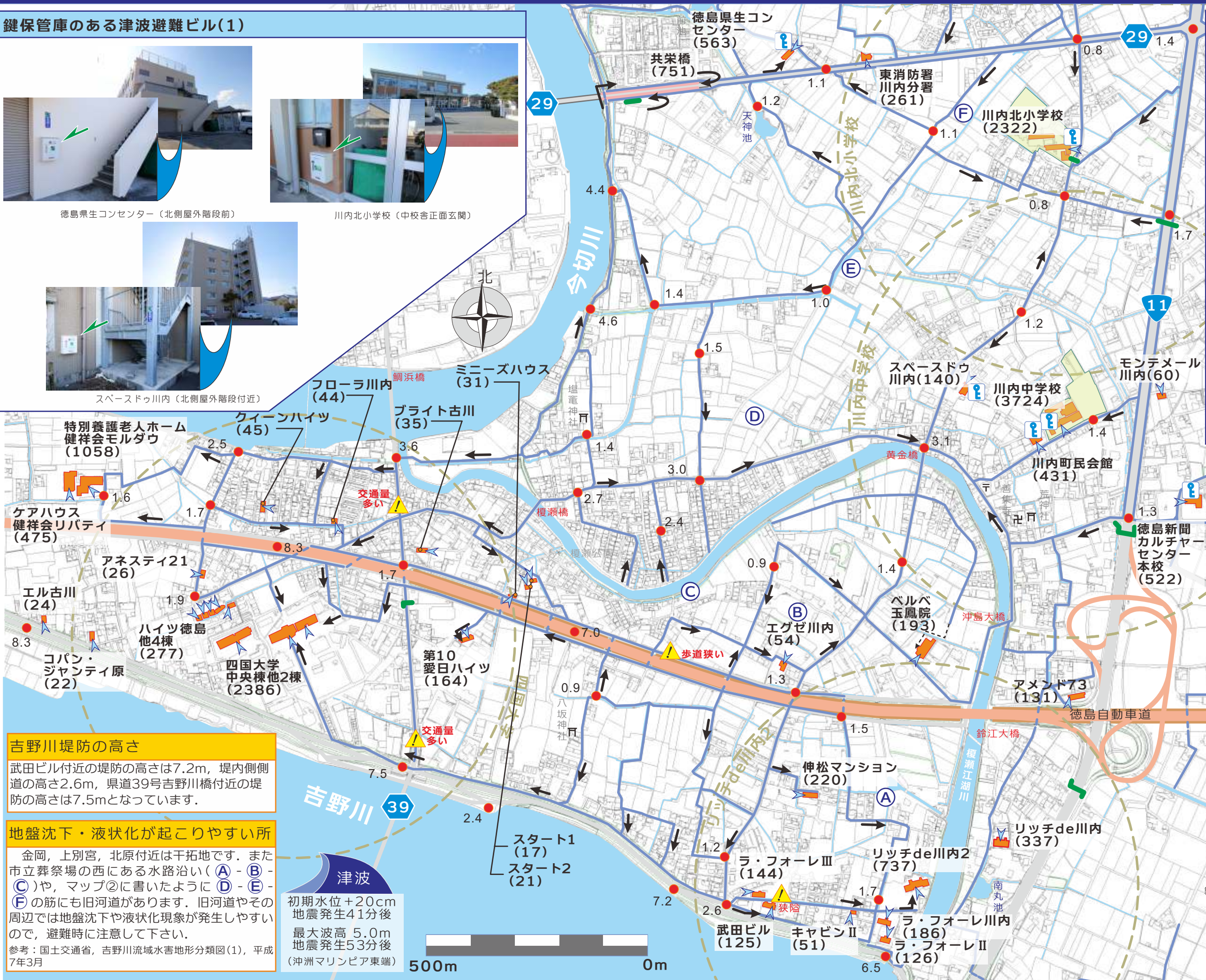
鍵保管庫のある津波避難ビル(2)



川内町民会館（正面玄関）



川内中学校（南校舎正面玄関）



記号の説明

- 徳島市津波避難ビル（収容人数）
- 徳島市緊急避難場所（収容人数）
- 協議会津波避難ビル（収容人数）
- 協議会緊急避難場所（収容人数）
- 鍵保管庫
- 避難施設入口
- 幹線避難路と避難方向
- 階段・歩道橋
- 主な避難施設から半径500m圏（災害時徒歩移動20分圏）
- 0.7 地盤の高さ（海拔(m)）

吉野川堤防の高さ
武田ビル付近の堤防の高さは7.2m、堤内側側道の高さ2.6m、県道39号吉野川橋付近の堤防の高さは7.5mとなっています。

地盤沈下・液状化が起こりやすい所
金岡、上別宮、北原付近は干拓地です。また市立葬祭場の西にある水路沿い（A - B - C）や、マップ②に書いたように（D - E - F）の筋にも旧河道があります。旧河道やその周辺では地盤沈下や液状化現象が発生しやすいので、避難時に注意して下さい。
参考：国土交通省、吉野川流域水害地形分類図(1)、平成7年3月

津波
初期水位+20cm
地震発生41分後
最大波高 5.0m
地震発生53分後
(沖洲マリニピア東端)

製作：川内まちづくり協議会 / 川内南コミュニティ協議会 / 川内町自主防災組織連絡協議会 / 徳島大学環境防災研究センター / 徳島市
(お問合せ先：川内まちづくり協議会 088-665-1712)
「この地図は、徳島市長の承認を得て、1/2500地形図を複製したものである。（承認番号 徳島市指令都政第25号）」

川内地区 地震・津波避難支援マップ④ (沖島・鈴江・鶴島・宮島・松岡・富吉・富久) 平成27年3月

鍵保管庫のある津波避難ビル(1)



川内町民会館（正面玄関）



内中学校（南校舎正面玄関）



川内南小学校（西校舎東側入り口）

地盤沈下・液状化が起こりやすい

平石流通団地東側の南北に伸びる道路から富吉八幡神社、県道29号付近より東側は干地です。また鶴島の荒神社から川内中学校にかけて2本の旧河道(**A** - **B** - **C** と **C** - **E** - **F**)が走っています。これらの場所でも盤沈下や液状化現象が発生しやすいので避難時に注意して下さい。

参考：国土交通省、吉野川流域水害地形分類図(1)、平成3月



鍵保管庫のある津波避難ビル(2)



島銀行研修会館宿泊所〔正門〕



青島新聞カルチャーセンター本校（西側入口）

記号の説明

-  徳島市津波避難ビル
(収容人数)
-  徳島市緊急避難場所
(収容人数)
-  協議会津波避難ビル
(収容人数)
-  協議会緊急避難場所
(収容人数)
-  鍵保管庫
-  避難施設入口
-  幹線避難路
と避難方向
-  階段・歩道橋
-  主な避難施設から半径
500m圏
(災害時徒歩移動20分圏)
-  0.7 地盤の高さ (海拔(m))

製作：川内まちづくり協議会
川内南コミュニティ協議会
川内町自主防災組織連絡協議会
徳島大学環境防災研究センター
徳島市
お問合せ先：
川内まちづくり協議会 088-665-17

この地図は、徳島市長の承認を得て、
L/2500地形図を複製したものである。
承認番号 徳島市指令都政第225号)

津波
初期水位 +20cm
地震発生41分後
最大波高 5.0m
地震発生53分後
(沖洲マリニピア東端)



鍵保管庫のある津波避難ビルと緊急避難場所

川内南小学校 (西校舎東側入口)

四国大学鶴島グラウンド (南側正門)

記号の説明

徳島市津波避難ビル (収容人数)

徳島市緊急避難場所 (収容人数)

協議会津波避難ビル (収容人数)

協議会緊急避難場所 (収容人数)

鍵保管庫

避難施設入口

幹線避難路と避難方向

階段・歩道橋

主な避難施設から半径500m圏 (災害時徒歩移動20分圏)

主な避難施設から半径750m圏 (災害時徒歩移動30分圏)

0.7 地盤の高さ (海拔(m))

地盤沈下・液状化が
起こりやすい所

旭野と小松東の住宅地区、若宮神社と薬師寺を結ぶ地区は共に砂州で、その他は干拓地です。
【A】-【B】を結ぶ筋には旧河道があります。下別宮・小松・旭野地区は特に地盤沈下や液状化現象が発生しやすいので、避難時に注意して下さい。

参考：国土交通省、吉野川流域水害地形分類図(1)、平成7年3月

相生橋を經由して
阿波しらさぎ大橋
への避難

相生橋が地震で破損して渡れなくなった場合でも、時間に余裕があれば、四国大学鶴島グラウンドを通して、堤防道路から県道29号への傾斜路を上ることで、阿波しらさぎ大橋への避難が可能です。

自動車を使った避難 (吉野川堤防利用)

避難は原則徒歩です。しかし津波避難ビルや緊急避難場所までの距離が長い旭野地区からの避難では、自動車を使った鶴島グラウンドへの避難も考えておく必要があります。その時は以下の点に注意して下さい。

- 1) 徒歩避難者の安全を確保して下さい。
- 2) 地震や液状化による道路の破損・障害物の散乱等によって、車での避難ができなくなる可能性があります。途中で車を置いて避難する場合は、道路の左側もしくは道路外に車を止め、ドアロックはせずエンジンキーは付けたままとして下さい。
- 3) 四国大学鶴島グラウンド到着後は、後続車のためにグラウンドの奥の方から駐車をして下さい。



自動車での避難速度

国土交通省「東日本大震災の津波被災現況調査結果(第3次報告)」によると、車の避難速度は平均9.0km/時で、「信号が点灯していなかった」「渋滞で動けなかった」が大きな理由でした。このマップに記載している車の避難所要時間はこの値を元に計算したものです。ただし川内町では地盤沈下・液状化の影響で車による避難が困難になる可能性があります。

四国大学
鶴島グラウンド
まで2800m
約19分

四国大学
鶴島グラウンド
まで1600m
約11分

津波

初期水位+20cm
地震発生41分後
最大波高 5.0m
地震発生53分後
(沖洲マリニピア東端)